

市制施行六十周年に向けて

大門商店街を核に農村としての共通の産業を礎とする一町五ヶ村が多少前後して昭和三十四年に合併し塩尻市が発足しました。

日本経済の発展と共に我が塩尻市も国道二十号線から十九号線沿いの松本寄りにかけては、特に工業地帯として発達し今日を迎え、この地帯の企業が塩尻市の産業構造のバランスを保ちながら経済の底力を押し上げて来たと思います。

平成元年がたまたま市制施行三十周年であり、平成三十一年の塩尻市の姿を思う時、塩尻市の現在の四方の環境を保ちつつ、農・工・商の基盤も一層強化され調和のとれた田園都市として、子孫が安心して生活の出来る塩尻市として限りない発展を続けていることを祈りながら、議会の夢の総てをこのカプセルの開封に託します。

平成元年九月二十八日

塩尻市議会

議長 岩垂

